

東京都福祉のまちづくり推進計画（令和元年度～令和5年度）について

《位置づけ》 **福祉のまちづくり条例**に基づき、福祉のまちづくりを推進するための**総合的な基本計画**
 《計画期間》 **5年間**（令和元年度～令和5年度）

バリアフリーをめぐる現状

＜国の動向等＞

- 「ユニバーサルデザイン2020行動計画」の策定等
- 「障害者差別解消法」の施行、「バリアフリー法」の改正等

➡ 「共生社会の実現」「社会的障壁の除去」

＜都民の意識調査＞

- 「ユニバーサルデザイン」という言葉や意味を知っている人は約3割

計画の目標

- 誰もが自分の意志で**円滑に移動し**、**必要な情報を入手**しながら、あらゆる場所で**活動に参加し**、**共に楽しむ**ことができる社会

《推進にあたってのポイント》

- 福祉のまちづくりで目指す**社会像の共有**
- 高齢者や障害者等の**当事者参加と意見の反映**
- **都民、事業者、行政等の一体的推進**

「福祉のまちづくり推進計画」の5つの視点と主な施策

I 誰もが円滑に移動できる交通機関や道路等のバリアフリーの更なる推進

- 交通機関、道路等のバリアフリー化の推進
- 面的なバリアフリー整備
(都市整備局、建設局、交通局など)

IV 様々な障害特性や外国人等に配慮した情報バリアフリーの推進

- 情報提供体制の整備
- 情報提供の内容充実
(生活文化局、福祉保健局、産業労働局、警視庁など)

II 全ての人々が快適に利用できる施設や環境の整備

- 建築物、公園等のバリアフリー化の推進
- 公共住宅の整備、民間住宅の整備促進
(財務局、オリパラ局、都市整備局、福祉保健局など)

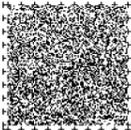
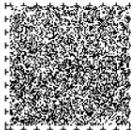
V 都民等の理解促進と実践に向けた心のバリアフリーの推進

- 普及啓発の充実、社会参加支援
- ユニバーサルデザイン学習の普及
(福祉保健局、交通局、教育庁、オリパラ局など)

III 災害時・緊急時に備えた安全・安心のまちづくりの推進

- 災害への備え及び対応
- 日常生活における事故防止
(総務局、生活文化局、福祉保健局、東京消防庁など)

事業数：計120事業（20局）



都におけるバリアフリー化の主な進捗状況 ハード面（令和元年度末）



エレベーター

都内鉄道駅のエレベーター等による
段差解消〈都市整備局・交通局〉
(R元末 96%)



だれでもトイレ

都内鉄道駅のだれでもトイレ整備状況
〈都市整備局・交通局〉(R元末 97%)
※都営地下鉄100%



車いす用客席

大会会場となる都立競技施設において、分散配置
サイトライン(可視線)をほぼ確保予定
〈オリンピック・パラリンピック準備局〉



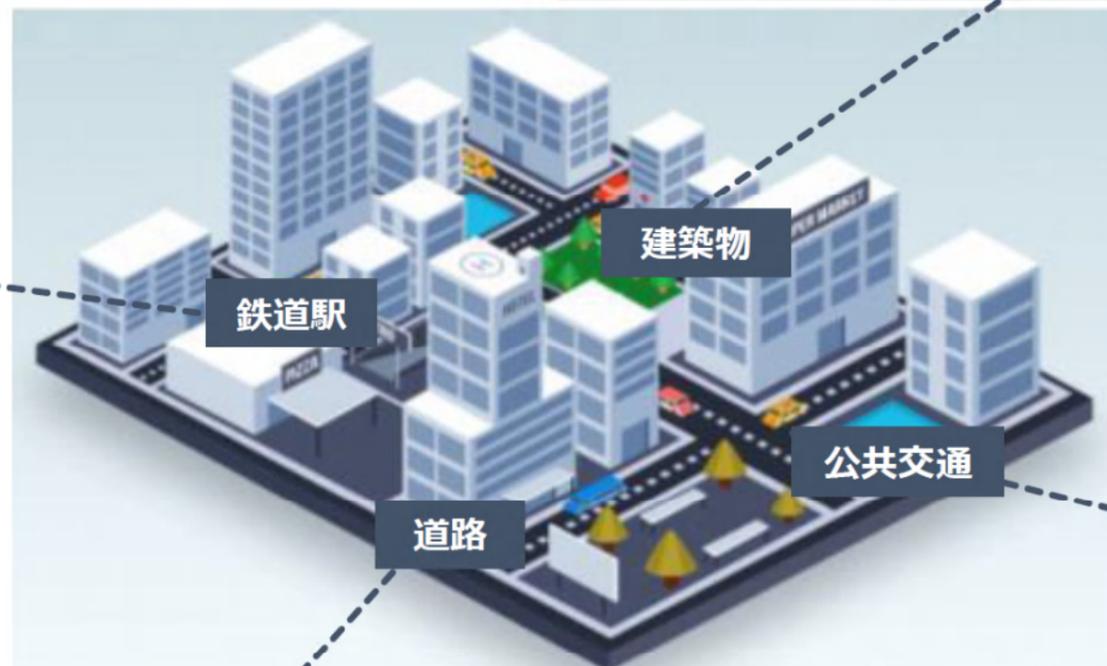
宿泊施設のバリアフリー化

客室等のバリアフリー改修等支援
〈産業労働局〉(R元実績 36件)



ホームドア

ホームドア、可動式ホーム柵の
整備状況〈都市整備局・交通局〉
(R元末 46%)



ノンステップバス

都内のノンステップバス普及状況
〈都市整備局・交通局〉
(R元末 94%)
※都営バス100%



エスコートゾーン

都内エスコートゾーン整備箇所数
〈警視庁〉
(R元末 695か所)



都道のバリアフリー化

特定道路等の整備 (H27末 327km【完了】)
優先整備路線の整備 (R元末 119km)
〈建設局〉



都道の無電柱化

都内(都道)の地中化率〈建設局〉
(R元末 45%)



UDタクシー

次世代タクシーの普及促進
〈環境局〉(R元末 9,044台)

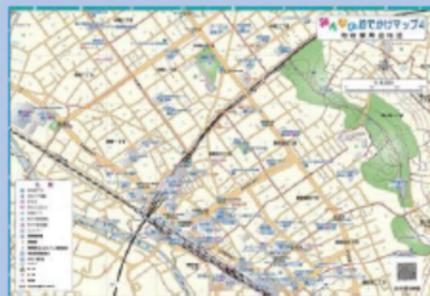


都におけるバリアフリー化の主な進捗状況 ソフト面（令和元年度末）

情報バリアフリー



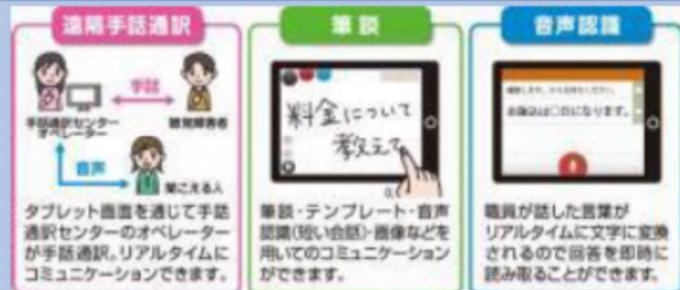
だれでもトイレのバリアフリー情報のオープンデータ化
 都内公共施設等のだれでもトイレのバリアフリー情報をオープンデータとして公表
 〈福祉保健局〉（R元 7,505基）



バリアフリーマップ
 バリアフリーマップ作成・更新に取り組む
 区市町村を支援〈福祉保健局〉
 （R元実績 40区市町村）



とうきょうユニバーサルデザインナビ
 だれもが外出に必要な情報が集約された
 ポータルサイト〈福祉保健局〉



ICTによる聴覚障害者コミュニケーション支援
 遠隔手話通話システム等を導入したタブレット端末機器を都庁内に貸出
 〈福祉保健局〉

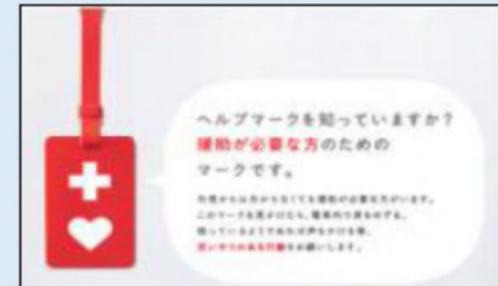
心のバリアフリー



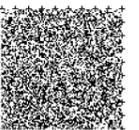
ユニバーサルデザイン学習
 学校等での体験学習等に取り組む区市町村を支援
 〈福祉保健局〉（R元実績 5区1市）



高齢者・障害者などの当事者参加
 当事者参加のまち歩き点検・整備を行う区市町村を支援〈福祉保健局〉
 ユニバーサルデザイン緊急推進事業（H29～）（R元実績 15件）



都民への普及啓発
 ポスターコンクール・障害者等用駐車区画の適正利用・ヘルプマークなど
 〈福祉保健局〉



東京都福祉のまちづくり推進協議会意見具申の概要 (東京2020大会を契機としたバリアフリー化の推進に向けて)

「本意見具申の意義」

東京2020大会に向けたバリアフリー化の取組が開催決定からこれまでの間に着実に進められてきた事実を評価し、その成果を今後の福祉のまちづくりに最大限生かしていくことが重要
→東京2020大会を契機としたバリアフリー化の取組状況を踏まえ、現状と課題を整理し、更なるバリアフリー化の推進に向けた福祉のまちづくりの方向性を提言

第1章 都における福祉のまちづくりのこれまでの進展

- 福祉のまちづくり条例施行規則の改正
 - ・車椅子利用者用観覧席・客席等からのサイトラインの配慮を整備基準に追加
 - ・宿泊施設の一般客室の整備基準を追加 等
- 福祉のまちづくり推進計画に基づくまちづくりの推進
 - ・福祉のまちづくりに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本計画を策定（20局120事業）

第2章 国等の動向

- 「障害者権利条約」の批准と国内法の整備
- 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」等の改正

第3章 東京2020大会を契機としたバリアフリー化の取組

- 都の主な取組
 - ・**当事者参画の取組**
「東京2020パラリンピックの成功とバリアフリー推進に向けた懇談会」、
「アクセシビリティ・ワークショップ」、障害者団体等と連携した道路のバリアフリー化、
地域住民による点検を踏まえた施設等のバリアフリー化に取り組む区市町村支援
 - ・**大会会場周辺を中心とした施設整備等**
大会会場周辺駅等におけるエレベーター・ホームドア等の整備、
ユニバーサルデザインタクシー車両の普及促進、宿泊施設のバリアフリー化支援 等
 - ・**情報バリアフリーの推進に向けた取組**
利用者本位のターミナル実現に向けた支援、「とうきょうユニバーサルデザインナビ」
の運営、バリアフリー情報のオープンデータ化、手話のできる都民育成事業
 - ・**心のバリアフリーの推進に向けた取組**
普及啓発冊子の作成・配布、心のバリアフリーサポート企業連携事業
- 国等の動向
 - ・「ユニバーサルデザイン2020行動計画」の策定
 - ・「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」の策定

第4章 バリアフリー化の推進に向けた課題と方向性

1 公共交通機関や道路等におけるハード・ソフト一体的整備の在り方

- ・公共交通機関におけるソフト面も含めた対応の推進
- ・バス・タクシーにおける車椅子利用者等への適切な対応のための取組
- ・当事者との意見交換などにより様々な利用者の視点に立った整備の実行

2 生活に身近な建築物等におけるバリアフリー化の推進の在り方

- ・ハード整備の推進及びソフト対応の強化により建築物を誰でも利用目的どおりに使える社会の実現
- ・当事者参加の仕組みの構築と施設整備のより一層の推進
- ・経路や遊具の整備を含めた公園の環境整備

3 災害時・緊急時等に備えた安全・安心のまちづくりの推進の在り方

- ・避難所として使用される学校施設の整備及び道路等の面的整備
- ・避難所において誰もが適切な支援を受けるための要配慮者対応の強化

4 ICTの活用等による情報バリアフリーの推進の在り方

- ・施設管理者等の自主的なバリアフリー情報の発信の促進
- ・ICT技術を活用した情報バリアフリーの更なる推進
- ・多様な意見の把握と全ての人にとって分かりやすい情報提供の推進

5 共生社会実現に向けた心のバリアフリーの推進の在り方

- ・子供の頃から心のバリアフリーを意識できるよう当事者等との連携による効果的な推進
- ・共生社会や障害の社会モデルの考え方を浸透させるための啓発活動の継続実施
- ・施設や設備の適正利用に向けた普及啓発の推進

